

6年 道徳の年間指導計画例（2020年休校措置対応）

- ・年間35時間に配当された教材のうち、9教材を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」としています。
- ・「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」として、教科書内で同一内容項目について、2教材以上用意しているもののうち1教材を挙げました。ただし、教科書の構成上、特別の指導意図があるものについては、2教材以上用意している内容項目の教材であっても、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に含めていません。
- ・「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に該当する教材の欄は、水色 にしています。
- ・「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」は、赤字で示しています。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 一年生のお世話係 ―アフター・ユ― 〔心を受けつぐ〕 【主】 C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】 B 親切、思いやり	◎6年生としての役割を自覚し、学校生活をよりよく充実したものにしようとする。 【理解、判断力】 学校生活をよりよく充実したものにしようとしてきた学校の先輩の思いが分かる。 【心情】 自分もよりよい学校づくりのために役立ちたいと心が動く。 【実践意欲と態度】 6年生としての役割を自覚し、学校生活をよりよく充実したものにしようとする。	1 年下の子の世話をした経験について話し合う。 2 「一年生のお世話係」を読み、学校で自分たちが果たすべき役割について考える。 3 6年生として果たすべき役割とその役割を果たすために大切なことについて話し合う。 4 6年生である自分の役割について考えたことをまとめる。	○学級活動 ・下級生の世話係を積極的に行わせ、その感想などを発表させる。 ○道徳の授業 ・「一年生のお世話係 ― アフター・ユ―」を読み、学校で自分たちが果たすべき役割について考えさせる。 ○学級活動・委員会活動 ・クラスや学校のために自分ができることを考え、実行させる。 ・下級生の世話や委員会活動などで、自ら積極的に役割を果たすようにさせる。
4月	2. 松井さんの笑顔 〔支える人の気持ち〕 【主】 B 感謝 【関連】 C 勤労、公共の精神	◎自分たちの生活は多くの人に支えられていることを知り、感謝し、それに応えようとする。 【理解、判断力】 自分たちの生活を支えてくれている人の存在や、その人たちの思いが分かる。 【心情】 自分たちの生活を支えてくれている人の気持ちを知り、感謝する気持ちをもつ。 【実践意欲と態度】 自分たちの生活を支えてくれている人に感謝し、それに応えようとする。	1 自分たちがしている下級生を世話する活動を思い出して、話し合う。 2 「松井さんの笑顔」を読み、自分たちを支えてくれている人の思いについて話し合う。 3 自分たちがすべきことについて考える。	○道徳の授業 ・「松井さんの笑顔」を読み、自分たちを支えてくれている人の思いについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分たちを支えてくれている人たちの気持ちに応えるために、自分たちができることを考え、実行させる。 ・生活の中で、人のためにできることを考え、実行させる。
4月	3. 温かいおまんじゅう 〔本当の礼儀とは〕 【主】 B 礼儀 【関連】 B 親切、思いやり	◎礼儀の意味が分かり、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 相手に敬意をもち、真心を込めて人に接することが礼儀には大切だということが分かる。 【心情】 礼儀正しい人の心や行動に共感する。 【実践意欲と態度】 日常生活で、礼儀正しく真心をもって人に接しようという意欲をもつ。	1 「自分は礼儀を知っているか」について話し合う。 2 「温かいおまんじゅう」を読み、「本当の礼儀」について考える。 3 「本当の礼儀」についてまとめる。	○道徳の授業 ・「温かいおまんじゅう」を読み、「本当の礼儀」について考えさせる。 ○学級活動 ・「本当の礼儀」が表れるようなあいさつをして、相手の様子や自分の気持ちの変化から感じたことをクラスで話し合わせる。 ○日常生活 ・日々接する周りの人たちに、礼儀正しく接するように促す。
5月	4. 夢に向かって ―三浦雄一郎― 〔夢に向かって〕 【主】 A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】 D よりよく生きる喜び	◎夢をもち、目標を立てることによってやる気や不撓不屈の心や自信などがわき上がることが分かり、自分も実践していこうとする。 【理解、判断力】 よりよい自分に向けて目標を立てることによって、やる気や不撓不屈の心が生まれ、それが自信となって自分を支えていくことが分かる。 【心情】 夢に向かい、夢を実現する生き方のすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分も、夢に向かって努力していこうとする。	1 夢をかなえるために大切なことは何かを話し合う。 2 「夢に向かって」を読み、夢をかなえるために大切なことは何かを考える。 3 三浦さんの生き方から学んだことをもとに、自分の夢を実現するためにどうしたらよいかを考える。	○道徳の授業 ・「夢に向かって―三浦雄一郎―」を読み、夢をかなえるために大切なことは何か考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・三浦雄一郎さんのような夢を実現している人について調べて発表させる。 ○日常生活 ・自分の夢に向かって、計画を立てて実行させる。
5月	5. 陽子、ドンマイ! 〔信頼し合える友達〕 【主】 B 友情、信頼 【関連】 B 相互理解、寛容	◎男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合うことの大切さが分かり、自分も周りの友達と信頼し合える関係をつくっていこうとする。 【理解、判断力】 友達と信頼し合える関係をつくるには、男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合うことが大切であることが分かる。 【心情】 男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合う姿に共感する。 【実践意欲と態度】 そのような友達関係に憧れをもち、自分も周りにいる友達と信頼し合える関係を築いていこうとする。	1 友達と信頼し合うために大切なことを考える。 2 「陽子、ドンマイ!」を読み、友達と信頼し合うために大切なことについて考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・男女の隔てなく接するよう心がけさせる。 ○道徳の授業 ・「陽子、ドンマイ!」を読み、友達と信頼し合える関係をつくるために大切なことについて考えさせる。 ○日常生活 ・男女の隔てなく信頼し合う友達関係をつくるために、普段の生活で心がけたいことややっていきたいことを友達と伝え合わせる。 ○読書活動 ・友情について描かれている本を読んで、感想をクラスで話し合わせる。
5月	6. きみの声が聞きたい 〔新たな方法を求めて〕 【主】 A 真理の探究 【関連】 A 希望と勇気、努力と強い意志	◎あきらめずにくふうし、真理を探究する大切さに気づき、自分も真理を探究しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 真理を探究する姿勢の大切さが分かる。 【心情】 人のために真理を探究しようとする心のすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分も真理に近づくために、努力や挑戦をしようとする気持ちをもつ。	1 問題解決に向けて大切なことを考える。 2 「きみの声が聞きたい」を読み、真理を探究しようとする心について話し合う。 3 神谷さんの生き方から、自分の生き方について考える。	○道徳の授業 ・「きみの声が聞きたい」を読み、真理を探究しようとする心について話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・命を救うために研究や試みを続けた人について調べて発表させる。 ・医学以外の分野でも、研究や試みを続けた人について調べて発表させる。 ○読書活動 ・学級文庫に、「真理を探究している人」や「新しい方法を生み出したり挑戦したりした人」の伝記や本を置き、そのような生き方をした人たちを知る機会や環境をつくる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
5月	7. 本屋のお姉さん 〔真心をこめる〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】C 勤労, 公共の精神	◎誠実に、明るく楽しく生活しようとする。 【理解, 判断力】 まじめ(誠実)とは、真心を込めて相手のために尽くすことであり、誠実さは心を明るくし、周りの者の心まで温かくすることが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方をすばらしいと感じる。 【実践意欲と態度】 これまでの生活を振り返り、自分もまじめに取り組んできたことがあることを自覚し、まじめに、明るく生活しようという意欲をもつ。	1 「まじめ」という言葉から連想することを話し合う。 2 「本屋のお姉さん」を読み、「まじめ(誠実)」について考える。 3 まじめに取り組んだり、心を込めて行ったりしたことが、これまでの自分にもあったかどうか、振り返る。	○道徳の授業 ・「本屋のお姉さん」を読み、「まじめ(誠実)」について考えさせる。 ○委員会活動・係活動 ・委員会や当番活動などで自分の活動を振り返るときに、自分の役割を意識して取り組んだことを自覚させ、まじめさを前向きに受け止める機会とさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・学校生活の中で、友達の行動から、「まじめだな」「誠実だな」ということを見つけて、朝の会や帰りの会で発表させる。
6月	8. 世界がおどろく七分間清掃 〔働く人の思い〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	◎働くことのよさや大切さを知ると共に、自らも公共のために役立とうとする気持ちをもつ。 【理解, 判断力】 働く意義や、社会に奉仕する喜びを理解する。 【心情】 働くことや社会に奉仕することの意義について理解し、実践している人の心に共感する。 【実践意欲と態度】 公共のために自分にできることをやってみようとする。	1 私たちの周りで働いている人が、どのような思いで働いているのか、話し合う。 2 「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働くことの意義について考える。 3 私たちの周りで働いている人たちの思いについて話し合い、自分たちにもできることを考える。	○道徳の授業 ・「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働くことの意義について考えさせる。 ○日常生活 ・身近にいる大人に、どんな思いで働いているのかたずねさせる。 ・公共のために自分にできることを考え、実行させる。 ○学校における日常生活 ・係活動や委員会活動などで、自分にできる仕事を考えて実行させる。 ・働くことのよさについて、自分の経験をもとにクラスで話し合わせる。
6月	9. カッコいいお父さん 〔支え合う家族〕 【主】C 家族愛, 家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎家族を支えるために働く父の思いを理解し、敬愛すると共に、自分も家族を支えていこうとする。 【理解, 判断力】 父は家族への愛情と社会人としての自覚や責任をもって働いていることが分かる。 【心情】 家族のために働く父を敬愛し、自分も支えになりたいという気持ちをもつ。 【実践意欲と態度】 自分も家族の一員としてできることを考え、進んで実行していこうとする。	1 「カッコいい人」とはどのような人だと思うか話し合う。 2 「カッコいいお父さん」を読み、家族がどのような思いで働いているか考える。 3 自分の家の人の思いについて考える。	○日常生活 ・日記などで家族に対する思いなどについて書かせる。 ○道徳の授業 ・「カッコいいお父さん」を読み、家族がどのような思いで働いているかを考えさせる。 ○家庭 ・家庭で自分ができる仕事を見つけて実行させる。
6月	10. 本当にだいじょうぶ？ 〔「弱い心」をコントロール〕 【主】A 節度, 節制 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする。 【理解, 判断力】 自分の生活をよくしていくために、生活を見直すことが大切であることが分かる。 【心情】 自分の中にも弱い心があることを自覚する。 【実践意欲と態度】 自分の中にある弱い心を見つめ直し、生活を改善していこうとする。	1 「弱い心」について考える。 2 「本当にだいじょうぶ？」を読み、「弱い心」をどのようにしていったらよいかについて考える。 3 自分の生活を振り返り、見直すことはないか考える。	○道徳の授業 ・「本当にだいじょうぶ？」を読み、「弱い心」をどのようにしていったらよいかについて考えさせる。 ○学級活動 ・年度や学期の初めに1年間、1学期のめあてを決めさせる。 ・年度末や学期末に振り返りをさせて、次に生かせるようにさせる。 ○家庭 ・生活習慣で見直したいことについて家の人と話し合わせる。
重点主題：きまりの意義				
6月	11. 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」 〔マナーとルール〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎「マナー」と「ルール」の違いを考えることを通して、法やきまりの意義を理解し、進んでそれを守ろうとする。 【理解, 判断力】 ルールをマナーに高めていくためには、自他の権利を尊重しようとする気持ちが大切であることが分かる。 【心情】 ルールをマナーに高めることのよさに共感する。 【実践意欲と態度】 ルールは、自ら守ろうとすることが重要なことを自覚し、身の回りにあるルールを進んで守っていこうとする。	1 マナーとルールの違いについて話し合う。 2 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」を読み、マナーとルールの違いについて話し合う。 3 今日の学習を、自分の言葉でまとめる。	○道徳の授業 ・「マナーからルールへ、そしてマナーへ」を読み、マナーとルールについて考えさせる。 ○学級活動 ・学校や町にあるマナーやルールについて、それらがなぜあるのか、クラスで話し合わせる。 ○家庭 ・クラスで話し合ったことを家族に話し、家族の中のマナーやルールについて話し合わせる。
7月	12. いらなくなったきまり 〔いらなくなったきまり〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎集団が気持ちよく生活するためには自分ができることを考えて、モラルを守ることが大切であることに気づき、気持ちよく生活するためにモラルを守って生活しようとする心構えをもつ。 【理解, 判断力】 集団が気持ちよく生活するためには、自分ができることを考えてモラルを守って生活することが大切であることを理解する。 【心情】 集団が気持ちよく生活するために、自分ができることを考えてモラルを守って生活することのよさに共感する。 【実践意欲と態度】 気持ちよく生活するためにモラルを守って生活しようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、自分たちのクラスにはどのようなきまりがあるかを考え、ノートに書く。 2 「いらなくなったきまり」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 クラスのみんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考える。 ◎P58～61の問いかけを読んで、学級文庫にきまりがいらなくなったのはなぜかを考えて、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、みんなが気持ちよく生活するために大切なことは何かを考え、ノートにまとめる。	○学級活動 ・学校や世の中に存在するマナーやルールについて、それらがなぜあるのか、理由を話し合わせる。 ○道徳の学習 ・「いらなくなったきまり」を読み、クラスみんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考えさせる。 ○学級活動 ・自分たちのクラスが気持ちよく生活するためにできることについて話し合い、実行させる。
7月	13. 自然のゆりかご 〔自然の知恵〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎植物の生命の営みから自然の命のつながりが分かり、地球に存在しているたくさんの生命の営みを大切にしながら、共に生きていこうとする。 【理解, 判断力】 植物の生命の営みから自然の命のつながりを理解する。 【心情】 植物の生命の営みについて知り、小さな命を育てるために命をつないでいることのすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 地球に存在しているたくさんの自然の偉大な知恵についての理解や感動をもとに、共に生きていこうとする。	1 自然の偉大さについて話し合う。 2 「自然のゆりかご」を読み、自然の偉大さについて考える。 3 自然の偉大さについて自分の言葉でまとめる。	○理科 ・「生物と環境」の学習で、動物や植物の生活を観察したり、資料を活用して調べたりして、生物と環境との関わりについて考えさせる。 ○道徳の授業 ・「自然のゆりかご」を読み、自然の知恵の偉大さについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自然の偉大さを感じることができると本や映像を探す活動に取り組み、調べたものを紹介し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	14. 広村堤防の清掃ボランティア 〔ボランティアの意義〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎公共の役に立つことに意義や喜びを感じ、社会の一員としてできることを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 公共のために働くことには、意義や喜びがあることが分かる。 【心情】 公共のために働く喜びに共感する。 【実践意欲と態度】 社会の一員としての自覚をもち、公共のために積極的に行動しようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「ボランティアの意義」について考え、ノートに書く。 2 「広村堤防の清掃ボランティア」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 「ぼく」のボランティアに対する思いについて考える。 ◎P68・69の問いかけを読み、「ぼく」のボランティアに対する思いがボランティアをする前と後でどのように変わったのか考えて、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、ボランティアは何のためにするのかについて、再度考えて、まとめる。	○道徳の学習 ・「広村堤防の清掃ボランティア」を読んで、公共のために働くことのよさについて考えさせる。 ・自分たちでできるボランティアについて考えさせる。 ○朝の会・学級活動 ・自分たちでできるボランティアについて考え、計画を立てさせる。 ○総合的な学習の時間 ・朝の会や学級活動で計画したことなどをもとに、実際にボランティア活動を行わせる。 ・活動後、振り返らせる。
9月	15. 鑑真和上 【目標をもってやりぬく】 【主】A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】A 真理の探究	◎より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけずにやり遂げようとする。 【理解、判断力】 最後までやり遂げようとする強い思いには、それを支える高い目標があることが分かる。 【心情】 多くの困難を乗り越えて目標に向かう、強い思いをすばらしいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分の目標を見つめ直し、くじけずにやり遂げていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、目標に向かって最後までやり抜くためにはどうすればよいかを考え、ノートに書く。 2 「鑑真和上」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 あきらめない心について考える。 ◎P72・73の問いかけを読み、「鑑真が日本へ行く決心を変えなかったのはどうしてか」「十年以上の年月にわたって鑑真を支えたものは何か」を考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、自分の目標を見つめ直し、それをやり遂げるにはどうすればよいかを考え、ノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「鑑真和上」を読み、あきらめない心について考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・鑑真のように高い目標をもって行動した人が他にいないか、調べて発表させる。 ○朝の会・帰りの会 ・自分の目標に向かって努力していることを、朝の会や帰りの会で発表させる。
9月	16. 森川君のうわさ 【かたよらない心】 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】B 親切、思いやり	◎だれに対しても偏見をもつことなく公正、公平に接し、正義を実現することで、いじめのないクラスにしようとする。 【理解、判断力】 うわさによる偏見をもたず、だれに対しても公正、公平な態度で接することの大切さを理解する。 【心情】 正義を貫けない弱さが自分たちにもあることを感じ、その弱さを克服したいと思う。 【実践意欲と態度】 公正、公平を希求する心が正義の実現には大切であると理解し、いじめのないクラスの実現に向けて努力しようとする。	1 「かたよらない心」について考える。 2 「森川君のうわさ」を読み、いじめをなくすために大切な心とは何かを考える。 3 いじめのないクラスにするためにはどんな心が大切か、話し合う。	○道徳の授業 ・「森川君のうわさ」を読み、いじめをなくすために大切な心とは何かについて考えさせる。 ○学級活動 ・「いじめのないクラス」にするために、どんなことを心がけたり実行したりすればよいか、話し合わせる。 P.78～79のコラム「グループ外し」を活用してもよい。 ○日常生活 ・仲間はずれや差別的な言動を厳しく見つめていく雰囲気をつくり、機会あるごとに、話し合ったり、人権問題についての学習を深めたりさせる。
9月	17. 地球があぶない 【自然を守る】 【主】D 自然愛護 【関連】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎自然破壊の原因と自然を守るために何ができるのかを考え、自分なりの方法で自然環境を大切にしようとする。 【理解、判断力】 地球の至るところで起きている自然破壊の原因の多くは、人間が豊かに生活することを優先してきたことにあることが分かる。 【心情】 自然を守る活動に取り組んでいる小学生の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 人間が自然や動植物と共存していくために何が必要かを考え、自分にできる自然環境を大切にする方法を実践しようとする。	1 教科書P.80～81の写真を見ながら自然破壊について話し合う。 2 「地球があぶない」を読み、どうすれば自然を守ることができるかについて考える。 3 自然を守ることにについて話し合い、自分の考えをまとめる。	○理科 ・「生物と環境」の学習で、動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べさせ、生物と環境との関わりについての考えをもたせる。 ○道徳の授業 ・「地球があぶない」を読み、どうすれば自然を守ることができるかについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自然を守るために活動している小学生の事例を調べて発表させる。 ・自分たちでできることについて、社会科や理科の環境に関わる学習を振り返りながら話し合い、具体的に計画して実行させる。
10月	18. 技術で「障がい」をなくしたい—遠藤 謙— 【開発に願いをこめて】 【主】A 真理の探究 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎真理を探究する大切さに気づき、自分も真理を探究しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 真理を探究することが技術の発展に役立ち、人々の生活をよりよくすることが分かる。 【心情】 真理を探究することの大切さに気づき、人々のためになることにすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分も、真理を探究しようとする気持ちをもつ。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、研究を続けて、新たなものをつくり出した人を本やインターネットで調べてノートに書く。 2 「技術で『障がい』をなくしたい」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 真理を探究する大切さについて考える。 ◎P87～89の問いかけを読み、遠藤さんが何を指して「義足の開発を続けたか」を考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、遠藤さんの生き方から学んだことをノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「技術で『障がい』をなくしたい—遠藤 謙—」を読み、真理を探究する大切さについて考えさせる。 ○学級活動 ・人々のために研究を続けた人を調べ、その人の生き方から学んだことを紹介し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・パラリンピックで使用されるアイテムについて調べ、パラリンピックを支える技術について紹介し合わせる。
重点主題：日本の伝統・文化を受けつぐ				
10月	19. お茶の心 【もてなす心】 【主】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 【関連】B 礼儀	◎日本に古くから伝わる伝統と文化のよさが分かり、受け継いでいこうとする。 【理解、判断力】 日本の伝統文化の中にあるもてなす心や、日本の文化のよさが分かる。 【心情】 日本の伝統文化のよさについて感じ取る。 【実践意欲と態度】 日本の伝統文化に関心をもち、大切に受け継いでいこうとする。	1 茶道に対するイメージを聞く。 2 「お茶の心」を読み、茶道に込められた「もてなす心」のよさについて考える。 3 「もてなす心」に代表される日本古来の文化や知恵には、どのようなものがあるだろうかという関心をもつ。	○道徳の授業 ・「お茶の心」を読み、日本に古くから伝わる茶道に込められた「もてなす心」のよさについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・身近にある伝統文化や、昔からある言葉などの由来について調べ、発表させる。 ○日常生活 ・日本の伝統行事や文化に興味をもち、大切にしよう促す。
10月	20. いちばん近い自然「里山」 【自然と調和した暮らし】 【主】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 【関連】D 自然愛護	◎自然と調和する暮らし方をしてきた日本のよさに触れ、その精神を自分たちも大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 日本人の、自然と調和する暮らし方のよさや大切さが分かる。 【心情】 自然と調和する暮らし方をしてきた日本のよさを感じる。 【実践意欲と態度】 受け継がれてきた日本の自然や文化を大切に、継承していこうという意欲をもつ。	1 教科書P91の問いかけを読み、日本の自然のよさについて、考える。 2 「いちばん近い自然『里山』」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 自然と調和した暮らし方とは、どのような暮らし方について考える。 ◎P98～99の問いかけを読み、「昔の人々との里山との結びつきから学べること」「里山を守るのはなぜ、大切なのか」を考えて、ノートに書く。 3 「まとめる」を読み、自然と調和して暮らしていくために、自分たちでできることを考えてノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「いちばん近い自然『里山』」を読み、自然と調和した暮らし方とは、どのような暮らし方について考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・里山や身近な自然について調べさせる。 ・本や新聞記事などから、自然破壊や自然と人間の共存について書かれたものを探し、発表させる。 ○日常生活 ・日本に伝えられてきた自然と共に生きる暮らし方について調べ、発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
10月	21. プランコ乗りとピエロ 〔広い心で〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】B 友情, 信頼	◎謙虚な心を持ち, 自分と異なる意見や立場を広い心で受け止め, 互いを理解しようとする。 【理解, 判断力】 謙虚な心で相手から学ぶ姿勢を常にもつことの大切さが分かる。 【心情】 自分と異なる意見や立場を広い心で受け止め, 互いを理解しようとする事のよさを感じる。 【実践意欲と態度】 相手の意見や立場を広い心で受け止め, 互いを理解しようとする。	1 「広い心」について話し合う。 2 「プランコ乗りとピエロ」を読み, 「広い心」について考える。 3 考え話し合ったことをまとめる。	○道徳の授業 ・「プランコ乗りとピエロ」を読み, 広い心について考えさせる。 ○日常生活 ・日常生活で感じた「広い心」を, 道徳のノートなどに記入させる。それを, 朝の会や帰りの会, 学級通信などで紹介する。 ○朝の会・帰りの会 ・みんなが「広い心」で生活したら, どんなクラスになるかを考えて, 朝の会や帰りの会で発表させる。
11月	22. これが日本 〔日本のよさを大切に〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】D 感動, 畏敬の念	◎郷土やわが国の伝統と文化を大切に, 先人の努力を知り, 郷土や国を愛する心をもつ。 【理解, 判断力】 わが国には, 人々がこれまで長い時間をかけて大切に育んできた伝統文化や自然が多くあることが分かる。 【心情】 日本の伝統や文化に誇りを感じ, 守りたいと思う。 【実践意欲と態度】 日本や郷土のよさを受け継ぎ, よりよくしていこうとする。	1 自分が思う日本のよさを発表する。 2 「これが日本」を読み, 日本の伝統や文化のよさについて話し合う。 3 日本のよさを守るために, 自分たちにできることをまとめる。	○道徳の授業 ・「お茶の心」「いちばん近い自然『里山』」の学習や発展的な調べ学習で学んだことを振り返らせておく。 ○道徳の授業 ・「これが日本」を読み, 日本の伝統や文化のよさについて話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・身近にある伝統文化や, 昔からある言葉などの由来について調べ, 発表させる。
11月	23. フーバーさん 〔世界の人々と共に〕 【主】C 国際理解, 国際親善 【関連】B 相互理解, 寛容	◎日本以外の国を知り, 認め合うことが国際親善につながる事が分かり, 世界の人々と積極的に関わっていこうとする。 【理解, 判断力】 互いの国の人々や歴史, 文化をよく知り, 認め合うことが国際親善につながる事が分かる。 【心情】 互いの国の姿を正しく知ることのよさに共感する。 【実践意欲と態度】 日本以外の国の人々や歴史, 文化について関心をもち, 世界の人々と積極的に関わっていこうとする。	1 国際理解について考える。 2 「フーバーさん」を読み, 世界の人々と共に生きるために大切なことについて話し合う。 3 外国の人々と共に生きていくために, 大切なことについて話し合う。	○読書活動 ・世界や日本を知る図書を紹介して貸し出ししたり, 読書タイムなどで読ませたりする。 ○家庭 ・自分が行ってみたい国とその理由について考えさせ, 家庭で話をさせる。 ○道徳の授業 ・「フーバーさん」を読み, 世界の人々と共に生きるために大切なことについて考えさせる。 ○家庭・日常生活 ・自分が関心のある国について調べ, その国の人や, 行ったことのある人から, 話を聞くようにさせる。 ○総合的な学習の時間・外国語 ・世界の国々と人々の暮らしについて調べ, 発表したりポスターにしたりさせる。
11月	24. 六千人の命を救った決断 —杉原千畝— 〔正義をつらぬく心〕 【主】C 公正, 公平, 社会正義 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎だれに対しても公正, 公平な態度で接し, 正義の実現に努めようとする。 【理解, 判断力】 自分の信じる正義を貫き通すことの大切さが分かる。 【心情】 多くの人命のために, 自分の信念を貫いた生き方に共感する。 【実践意欲と態度】 だれに対しても公正, 公平な態度で接し, 正義を実現しようとする。	1 「正義」とは何かについて考える。 2 「六千人の命を救った決断—杉原千畝—」を読み, 正義について考える。 3 杉原千畝の生き方から学んだことについてまとめる。	○社会科 ・社会科の時間に戦争の歴史について学んだり, 杉原千畝について調べたりさせる。 ○道徳の授業 ・「六千人の命を救った決断—杉原千畝—」を読み, 正義について考えさせる。 ○家庭・日常生活 自分が関心のある国について調べ, その国の人や, 行ったことのある人から, 話を聞くようにさせる。 ○学級活動 ・杉原千畝の生き方から学んだことを確認し, 自分たちの生活にどう生かしていきたいか発表させる。 ・杉原千畝のように, 正義を貫いて行動した人を探して, 発表させる。
11月	25. すあしにサンダル天使 —マザー・テレサ— 〔よりよく生きる喜び〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】D 感動, 畏敬の念	◎人間にはよりよく生きようとする心の強さや気高さがあることを理解することを通して, 人間のすばらしさを感じ, 自分もよりよく生きていこうとする。 【理解, 判断力】 よりよく生きようとする人間の心の強さや気高さを理解する。 【心情】 人間のもつ強さや気高さに感動する。 【実践意欲と態度】 人間のもつ強さや気高さが自分にもあることに気づき, よりよく生きていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み, 「他人の幸せのために生きようとする人」を思い浮かべ, 「人のためにどうしてそこまでできるのか」を考えて, ノートに書く。 2 「すあしにサンダル天使」を, 気になったところに線を引きながら読む。 3 マザー・テレサの思いについて考える。 ○P118～119の問いかけを読み, 「マザー・テレサは『わたしは, この賞に値する人間ではありません』にどんな思いを込めたのか」, 「マザー・テレサの言葉が多くの人の心を動かしたのはなぜか」を考えて, ノートに書く。 4 「まとめる」を読み, マザー・テレサの生き方から考えたことをノートにまとめる。 5 今日の学習を通して学んだことを自分の生き方に生かすにはどうしたらよいか考えて, ノートにまとめる。	○総合的な学習の時間・読書活動 ・マザー・テレサについてのエピソードを収集させる。 ・マザー・テレサについて書かれた書籍を読ませる。 ○道徳の学習 ・「すあしにサンダル天使 — マザー・テレサ —」を読み, マザー・テレサの思いについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間・読書活動 ・マザー・テレサの言葉から感じたことをまとめさせる。 ・マザー・テレサのように他の人のためによりよく生きようとしている人物についての書籍を集め, それらを紹介するブックトークに取り組みさせる。
12月	26. 命のおにぎり 〔温かい心〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】B 感謝	◎親切な行為は, 困っている人を放っておけない心から生まれていることが分かり, 自分も人に対して親切にしようとする。 【理解, 判断力】 人には, 困っている人を放っておけずに, 自分ができることをしようとする心があるということが分かる。 【心情】 困っている人を放っておけずに自分ができることをしようとする心に共感する。 【実践意欲と態度】 親切で温かい心が自分にもあることを自覚し, 人に対して親切にしようとする。	1 人の温かさを感じる時はどのようなときか話し合う。 2 「命のおにぎり」を読み, 親切な行為と温かな心との関係を考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・困っている人がいたら, その人に必要なことを考えて行うよう話す。 ○道徳の授業 ・「命のおにぎり」を読み, 親切な行為と温かな心との関係を考えさせる。 ○学級活動 ・温かな心が伝わったり広がったりした例が他にもあるか, 新聞や本から探して, 困っている人を放っておけない心について話し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
12月	27. 誠実な人 一吉田松陰一 〔まっすぐな心〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】D よりよく生きる喜び	◎自分の心に忠実に行動し、誠実で明るい生活をしていこうとする。 【理解, 判断力】 誠実な人には、うそやごまかしがなく、誠実な言動は人の心を打つということが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方のすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ、同じような心が自分にもあることが分かり、それを高めていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「誠実な人」という言葉からどんな人をイメージするか考え、ノートに書く。 2 「誠実な人-吉田松陰-」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 誠実に生きる意味について考える。 ◎P127の問いかけを読んで、「吉田松陰は誠実だと思うか、また、その理由はなぜか」を考える。 4 「まとめる」を読んで、誠実な生き方とはどんな生き方だと思うか、ノートにまとめる。 5 吉田松陰の生き方と、自分の生き方を重ねて考え、考えたことをノートにまとめる。	○社会科 ・吉田松陰をはじめとする歴史上の人物について、その生き方や考え方について調べたり話し合ったりする学習を行って、歴史的背景をつかませておく。 ○道徳の学習 ・「誠実な人-吉田松陰-」を読み、誠実に生きる意味について考えさせる。 ○読書活動 ・「誠実に生きた人」の話を探して読み、感想を話し合わせる。 ○帰りの会 ・誠実な態度で生活している子どもを互いに評価させる活動を、帰りの会などで継続させる。
1月	28. めざせ、百八十回! 〔自分や友達のよさを見つめて〕 【主】A 個性の伸長 【関連】B 友情, 信頼	◎自分の特徴を知って、悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばそうとする。 【理解, 判断力】 だれにでも長所と短所があることや、友達のよさを自分の成長につなげられることが分かる。 【心情】 友達のよさに気づき、積極的に自分の成長につなげようとする人の心に共感する。 【実践意欲と態度】 友達のよさを見つけ、積極的に自分の成長に生かそうとする。	1 自分の短所を改め、長所を伸ばしていくために大切なことは何か、話し合う。 2 「めざせ、百八十回!」を読み、愛菜と奈々子の特徴を考える。 3 自分や友達のよさを伸ばし短所を改めるために大切なことを考える。 4 自分の短所を改め、長所を伸ばすために、大切にしていきたいことをまとめる。	○道徳の授業 ・「めざせ、百八十回!」を読み、自分や友達のよさを伸ばし短所を改めるために大切なことを考えさせる。 ○学級活動 ・学級全員のよさを出し合い、自分の短所を改めるために取り入れたい友達の長所を紹介し合わせる。 ・卒業までに、短所を改め長所を生かし、自分や集団の成長につながることを決め実行させる。 ○体育科 ・教材の中の長縄のように、卒業までに学級全体で目標に向かって取り組むことを決め、「めざせ、百八十回!」で学んだことを大切にしながら取り組ませる。
1月	29. 最後のひと葉 〔相手を思う、とうとい心〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】D 生命の尊さ	◎親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かり、自分にできる精一杯のことをしようとする。 【理解, 判断力】 親切な行為は、人のことを心配し、自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かる。 【心情】 人のことを思って行った親切な行為に感動する。 【実践意欲と態度】 人を思う心が自分にもあることを自覚し、人に対して自分にできる精一杯のことをしようとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「誰かのために何かをしてあげたいと思ったこと」を思い出し、ノートに書く。 2 「最後のひと葉」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 ペアマンやスウの行為と、相手を自分のことのように思う心とのつながりについて考える。 ◎P137の問いかけを読み、ペアマンがなぜ最後のひと葉を書くことができたのかを考える。 4 「まとめる」を読み、ペアマンさんの人を思いやる心や行為を通して、「思いやりの心」について学んだことをノートにまとめる。	○日常生活 ・人のことを思いやり、自分と同じように大切にしようとする態度で生活するよう促す。 ○道徳の学習 ・「最後のひと葉」を読み、ペアマンやスウの行為と、相手を自分のことのように思う心とのつながりについて考える。 ○学級活動・読書活動 ・人のことを思いやり、行動している人を、身近にいる人から見つけて、ペアやグループで紹介し合う場を設定し、伝え合わせる。 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語の中から、相手を思いやる心をもつ人を見つけて紹介し合わせる。
重点主題：命かがやかせて				
2月	30. 生命のメッセージ 〔心の中で生き続ける命〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎生命が人とつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、限りある生命を懸命に生きようとする。 【理解, 判断力】 生命が人とつながりの中にあることと、そのかけがえのなさが分かる。 【心情】 失われても心の中に生き続ける命の存在に感動する。 【実践意欲と態度】 人とつながりの中で受け継がれてきた自分の命を大切にしようとする。	1 「生命のメッセージ展」について知る。 2 「生命のメッセージ」を読み、かけがえのない命について考える。 3 自分は、どのようにして命を輝かせたいか考える。	○道徳の授業 ・「生命のメッセージ」を読み、かけがえのない命について考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・命を輝かせている人を見つけ、紹介するコーナーを教室に設定し、カードを掲示できるようにする。朝や帰りの会で、どんなところが命を輝かせていると感じるのか意見交流をさせる。 ○日常生活 ・自分の家族を大切に、感謝の思いを伝えさせる。
2月	31. 命と向き合う人生 〔命のとうとさ〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 自然愛護	◎生きてるもの全ての生命が、かけがえのない尊いものであることを理解し、生命を大切にしようとする心をもつ。 【理解, 判断力】 生きてるもの全ての生命が、かけがえのない尊いものであることが分かる。 【心情】 生命を救い、守り抜こうと努力する人の姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 生命を救い、守り抜こうとする人の生き方から、生命を大切にしていこうとする気持ちをもつ。	1 教科書P.144の新聞記事を見て、坂本さんの活動について予想する。 2 「命と向き合う人生」を読み、坂本さんの行動や思いから、命の尊さについて考える。 3 坂本さんの生き方から考えたことをまとめる。	○道徳の授業 ・「命と向き合う人生」を読み、坂本さんの行動や思いから、命の尊さについて考えさせる。 ・獣医師を目指す坂本さんの姿から、自分たちがどう生きるかという生き方について考えを深めさせる。 ○総合的な学習の時間 ・動物や人の命を守るために活動している人について調べ、紹介し合わせる。(キャリア教育との関連を図る。)
2月	32. 負けないで 〔かがやく命〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎かけがえのない命の大切さを理解し、命を輝かせて生きようとする心をもつ。 【理解, 判断力】 命がかけがえのないものであることを理解する。 【心情】 精一杯命を輝かせて生きることのすばらしさに感動する。 【実践意欲と態度】 自分もかけがえのない命を大切に、命を輝かせて生きようとする心をもつ。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、「命をかがやかせ」とはどのような生き方かを考えて、ノートに書く。 2 「負けないで」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 命を輝かせて生きるとはどういうことかについて考える。 ◎P148～151の問いかけを読み、「瑠璃さんの生き方を自分はどう思うか」を考えて、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、瑠璃さんの生きる姿から学んだことをノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「負けないで」を読み、瑠璃さんの生き方から、命の大切さを理解し、命を輝かせて生きようとする心をもたせる。 ・瑠璃さんの生き方から、自分も命を輝かせて生きようという意欲をもたせる。 ○学級活動 ・「生命のメッセージ」「命と向き合う人生」「負けないで」の三つの教材から、命について学んだことを新聞にまとめさせる。 ・自分の周りの「命をかがやかせている」例を探して、発表させる。 ○総合的な学習の時間 ・自分を輝かせて生きることについて、日常生活を振り返って考えさせる。また、将来の自分の夢や職業に向かってできることを考えさせる。(キャリア教育とつなげる。)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	33. 大空に飛び立つ鳥 〔本当の自由〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎本当の自由とは何かを理解し, 規律ある行動を取ろうとする。 【理解, 判断力】 自分の心を律し, 規律ある行動の中にある本当の意味での自由が分かる。 【心情】 自分たちで自分たちを律することにより得られる, 本当の意味での自由な行動のよさを感じている。 【実践意欲と態度】 自分の生活を振り返り, 自由を大切に, 規律ある行動を取ろうとする。	1 きまりがあることで「自由ではない」と感じたことがないか話し合う。 2 「大空に飛び立つ鳥」を読み, 本当の自由について考える。 3 「本当の自由」という言葉のもつ意味について考える。	○道徳の授業 ・「大空に飛び立つ鳥」を読み, 本当の自由について考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・朝の会や帰りの会で日ごろの自分たちの生活を振り返り, 「自由と規律」について考え, 自分たちはこれから中学生になるうえでどんな行動が大切かについて話し合い, 心がけることをまとめる。 ○学級活動 ・学級活動の中で, 自由と自律を大切にするために決定したことを実行させる。 ○家庭 ・自律的な行動によって変化や成長があったことなどについて, 家族で話し合わせる。
3月	34. 青の洞門 〔清らかな心〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】D よりよく生きる喜び	◎人間の心の中には弱さを認めながらもよりよく生きようとする強さがあることに感動し, その心の気高さに畏敬の念をもつ。 【理解, 判断力】 よりよく生きようとする強い気持ち, 人間が本来もっている力を超えるような力を生み出すことを理解する。 【心情】 よりよく生きようとする心の気高さに感動する。 【実践意欲と態度】 人間の心の気高さに対して, 畏敬の念をもって生きようとする。	1 「美しい心」について話し合う。 2 「青の洞門」を読み, 人間の心の美しさについて考える。 3 人間の心の美しさについて, 自分の考えをまとめる。	○総合的な学習の時間 ・よりよく生きようとしている人について調べさせる。 ・各自が調べてきたことについて発表し, 感想を共有させる。 ○道徳の授業 ・「青の洞門」を読み, 人間の心の美しさについて考えさせる。 ○学級活動と読書活動 ・丁海のような, 美しい心をもっている人を探させる。 ・特別活動などで, クラスの友達や自分のもつ心の美しさを見つけ, 発表させる。
3月	35. わたしは ひろがる 〔わたしは ひろがる〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎生きる喜びを感じながら, 自分の考えや行動を広げ, よりよく生きようとする。 【理解, 判断力】 人間は, 他者との関わりの中で, 自分の考えや行動を広げながら成長していくことが分かる。 【心情】 他者との関わりの中で, 自分が成長してきたと実感する思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自分のことを振り返り, 自分の考えや行動を広げ, よりよく生きようとする。	1 「わたしは ひろがる」という題名について考える。 2 「わたしは ひろがる」を読み, よりよい生き方について考える。 3 「自分をひろげる」にはどうすればよいか話し合い, 自分の考えをまとめる。	○家庭学習・授業の前日 ・「学びの足あと」や道徳のノートなどで, これまでに学習してきたことや, 自分の考えなどを振り返らせておく。 ・これまでの学習の中で, 感動した教材, その理由などを道徳のノートなどに記述させる。 ○道徳の授業 ・「わたしは ひろがる」を読み, よりよい生き方について考えさせる。 ○学級活動・日常生活 ・これまでの道徳の学習を振り返り, これからどんな生き方をしていきたいか考えさせる。 ・卒業に向けて, 自分と人との関わりについて考え, よりよい学校生活を送ろうという思いを広げさせる。
付録	36. 勇太への宿題 〔自分を見つめる〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎自分の特徴にはどんなものがあるのかを考え, 短所を改め長所を伸ばし, 自分を成長させようとする。 【理解, 判断力】 人間はだれもが長所と短所をもっており, 長所を伸ばし, 短所を改めようとすることで自己実現に近づいていくことを理解する。 【心情】 自分の長所を生かすために, 短所を見極め, 改善していこうとする心に共感する。 【実践意欲と態度】 自分も, 短所を改め長所を伸ばし, 成長するために積極的に努力していこうとする。	1 長所と短所について話し合う。 2 「勇太への宿題」を読み, 長所と短所について考える。 3 長所や短所について考えたことを共有する。 4 自分の長所や短所について考える。	○道徳の授業 ・「勇太への宿題」を読み, 長所と短所について考えさせる。 ○家庭 ・ワークシートなどを家庭に持ち帰り, 家族が感じている子どもたち自身の長所や短所についてのインタビュー活動に取り組ませる。 ○朝の会・帰りの会 ・インタビューしてきたことを発表させる。 ・「いいところ見つけ」を行い, 自分の長所に気づかせ, 長所の伸ばし方について話し合わせる。話し合った長所の伸ばし方について, 実行してみるよう促す。
付録	37. 友のしょうぞう画 〔友への思い〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】A 正直, 誠実	◎真の友情は, 相手の立場に立って寄り添い, 互いに相手の幸せを願う心から生まれていることが分かり, 自分も真の友情を育んでいこうとする。 【理解, 判断力】 真の友情とは, 離れていても, 精神的につながろうと互いに思い合う心から生まれていることが分かる。 【心情】 互いに思い合う友達関係に心が動く。 【実践意欲と態度】 互いに思い合う友達関係に憧れをもち, 自分も周りにいる友達と真の友情を育んでいこうとする。	1 「真の友情」とはどのような友情か考える。 2 「友のしょうぞう画」を読み, 二人の友情は真の友情といえるかどうか考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・日ごろから相手の立場に立って行動するように心がけさせる。 ○道徳の授業 ・「友のしょうぞう画」を読み, 「真の友情」とはどのような友情かを考えさせる。 ○読書活動 ・友情について描かれている本を読んで, 感想をクラスで話し合わせる。 ○日常生活 ・真の友情を育むために, 普段の生活で心がけるとよいことややっていきたいことを友達と伝え合わせる。
付録	38. あやまってすむことじゃない 〔広い心〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】B 親切, 思いやり	◎相手の過ちを, 謙虚な心で受け止め, 広い心で人と接していこうとする。 【理解, 判断力】 相手の過ちを, 謙虚な心で受け止めることの大切さが分かる。 【心情】 失敗をした人を許すことのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 人は失敗することがあることを自覚し, 広い心で人と接していこうとする。	1 よりよい人間関係を築くために必要なことを考える。 2 「あやまってすむことじゃない」を読み, 「謙虚な心」「広い心」について考える。 3 「広い心」をもつことの大切さを, 自分の生活とつなげてまとめる。	○道徳の授業 ・「あやまってすむことじゃない」を読み, 「謙虚な心」「広い心」について考えさせる。 ○日常生活 ・「広い心で接してみようウィーク」をつくり, 学校や家庭生活で「広い心」で接することができたら, ワークシートに「どのように接したら」「どのように変わったか」, 記入させる。「広い心で接してみようウィーク」終了後, 朝の会や帰りの会で, 紹介させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	39. よみがえれ熊本城 〔地域の人々を支えるもの〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国 や郷土を愛する態度 【関連】A 希望と勇気、努力と 強い意志	◎郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもつ。 【理解、判断力】 郷土には、先人の努力によって大切に育まれてきた伝統や文化があり、自分との間にも関わりがあることが分かる。 【心情】 郷土の伝統や文化を尊重し、守り、引き継いでいきたいと思う人々の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の伝統や文化を守り、引き継ぎ、発展させていこうという意欲をもつ。	1 自分たちの地域で大切にされているものについて話し合う。 2 「よみがえれ熊本城」を読み、熊本城に対する地域の人々の思いについて考える。 3 自分たちの地域の伝統や文化が大切にされている理由について話し合う。	○道徳の授業 ・「よみがえれ熊本城」で、伝統と文化を尊重すること、郷土を愛することについて考えさせる。 ○特別活動・総合的な学習の時間 ・身近にある伝統や文化を本や郷土資料館などで調べ、地域の人などの思いについて気づいたことをまとめ発表させる。 ・地域の歴史的な伝統や文化についても、人々の努力によって守られているものがあることについて知り、引き継いでいくためにできることを考え実行するよう促す。
付録	40. 羽ばたけ、折り鶴 〔命と平和〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 感動、畏敬の念	◎生命は、多くのつながりの中にあり、かけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重しようとする。 【理解、判断力】 戦争は、かけがえのない生命を簡単に奪うものと分かる。 【心情】 もっと生きたいと願う人々の思いや、命を尊び平和を願う人々の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自他の生命を尊重するために、平和な世界を築こうとする。	1 「原爆の子の像」について知っていることを話し合う。 2 「羽ばたけ、折り鶴」を読み、命と平和について考える。 3 命や平和の大切さについて、話し合う。	○総合的な学習の時間・社会科 ・第二次世界大戦や、戦時中の日本の様子について調べさせる。 ○道徳の授業 ・「羽ばたけ、折り鶴」を読み、命と平和について考えさせる。 ○学級活動 ・戦争に関する本や資料を探して読んだり視聴したりして、命の大切さについて話し合わせる。